

株式会社 J ストリーム

平成18年3月期（第9期）
第1四半期決算説明会

平成17年8月12日

		9-1Q	第8期末(個別)	増減額	主な増減要因
資産 の部	流動資産	2,309,808	2,391,863	82,055	▶ 受手・売掛金 54百万円
	固定資産	858,110	800,113	57,997	
	有形固定資産	149,267	144,234	5,033	
	無形固定資産	158,541	153,673	4,868	
	投資その他の資産	550,300	502,205	48,095	▶ スカパーモバイル出資 48百万円
資産合計		3,167,918	3,191,976	24,058	
負債 の部	流動負債	252,564	331,704	79,140	▶ 未払金 107百万円
	少数株主持分	19,374		19,374	▶ エクスペリエンス該当分
資本 の部	資本金	2,158,209	2,155,608	2,601	▶
	資本剰余金	1,406,472	1,403,870	2,601	▶ スtockオプション行使に 伴う増加
	利益剰余金	668,702	699,207	30,505	
負債・資本合計		3,167,918	3,191,976	24,058	

▶ 出資項目以外には大きな変動なし。 2

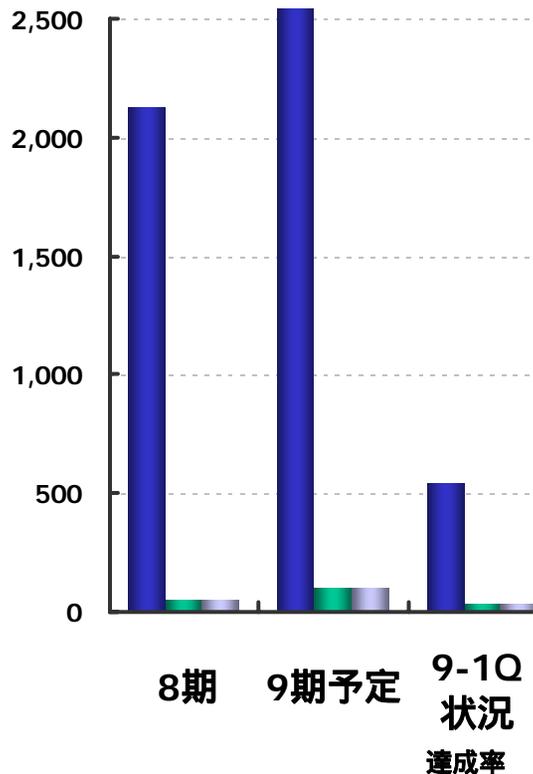
(単位:千円)

	9-1Q連結 (A)	9-1Q (個別)	8-1Q (B)	増減比(A:B)
売上高	546,000 (100%)	533,330 (100%)	437,621 (100%)	(+24.8%)
売上原価	323,116 (59.2%)	317,302 (59.5%)	273,812 (62.6%)	(+18.0%)
売上総利益	222,884 (40.8%)	216,028 (40.5%)	163,808 (37.4%)	(+36.1%)
販管費	195,571 (35.8%)	189,270 (35.5%)	189,800 (43.4%)	(+3.0%)
営業利益	27,312 (5.0%)	26,757 (5.0%)	25,991 (6.0%)	(+205.1%)
経常利益	30,897 (5.6%)	31,303 (5.9%)	25,959 (6.0%)	(+219.0%)
第1四半期 純利益	30,505 (5.6%)	30,731 (5.8%)	26,531 (6.1%)	(+215.0%)

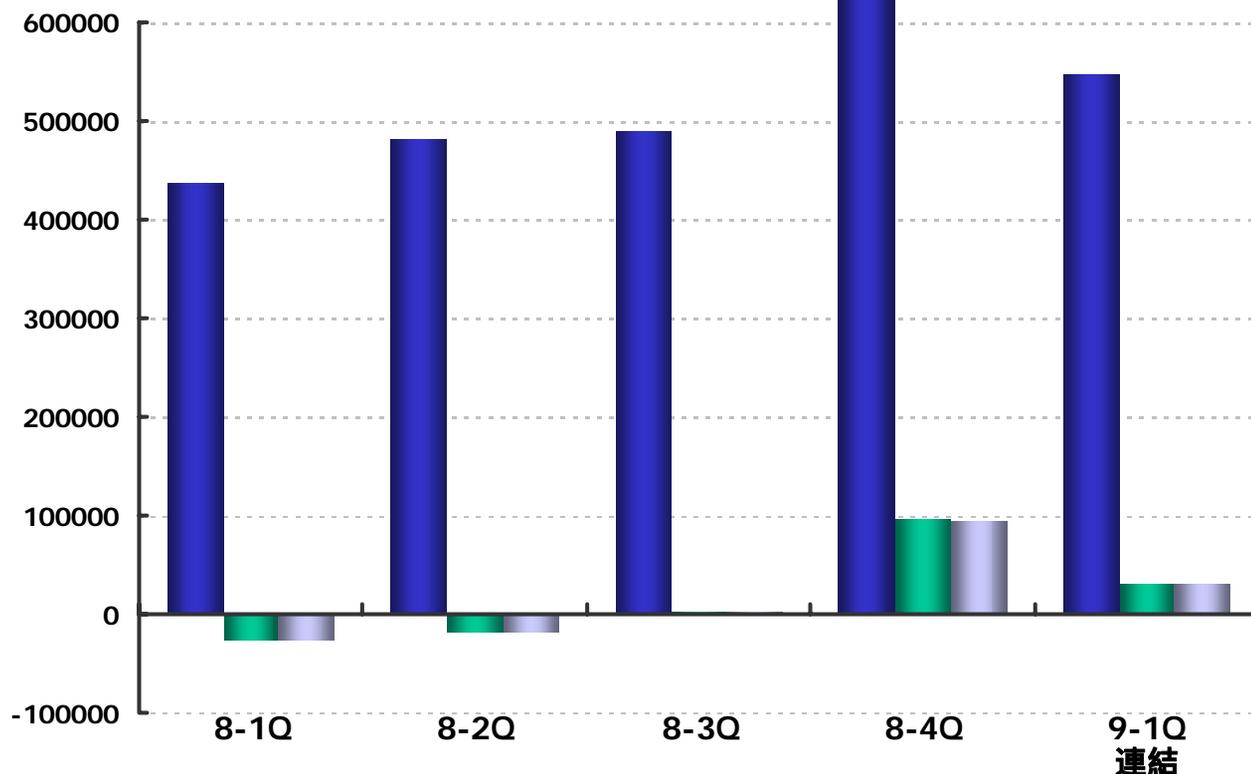
▶ 昨年同期対比、売上高**24%**増、原価率、固定比率共に大幅改善。
第1四半期での利益計上は上場後初。

四半期別利益推移 (連結)

(単位:百万円)



(単位:千円)



売上高	2,121	2,540	21.5%
経常利益	53	104	29.7%
純利益	49	100	31.1%

売上高	437,621	481,186	490,206	712,590	546,000
経常利益	25,959	17,673	1,350	95,893	30,897
純利益	26,531	18,245	1,296	93,261	30,505

▶ 安定して黒字を出せる体制確立。 4

	金額 (単位:千円)		構成比率 (単位:%)		
	9-1Q	8-1Q	9-1Q	8-1Q	(第8期)
外注費	97,249	73,306	30.2%	26.8%	37.5%
通信費	63,263	62,168	19.7%	22.7%	17.7%
労務費	54,481	48,796	16.9%	17.8%	14.8%
業務委託手数料	41,542	31,308	12.9%	11.4%	10.0%
賃借料	19,371	21,400	6.0%	7.8%	7.8%
保守料	15,759	14,207	4.9%	5.2%	4.4%
ソフトウェア償却	10,749	7,873	3.3%	2.9%	2.7%
減価償却費	9,852	10,122	3.1%	3.7%	3.3%
地代家賃	7,735	7,542	2.4%	2.8%	2.3%
その他及び他勘定振替	3,115	2,910	-	-	-
売上原価合計	323,116	273,812	100.0%	100.0%	100.0%

▶ 前年同期比では制作案件の増加に伴い外注費が増大。⁵
通信費の伸びはわずか。

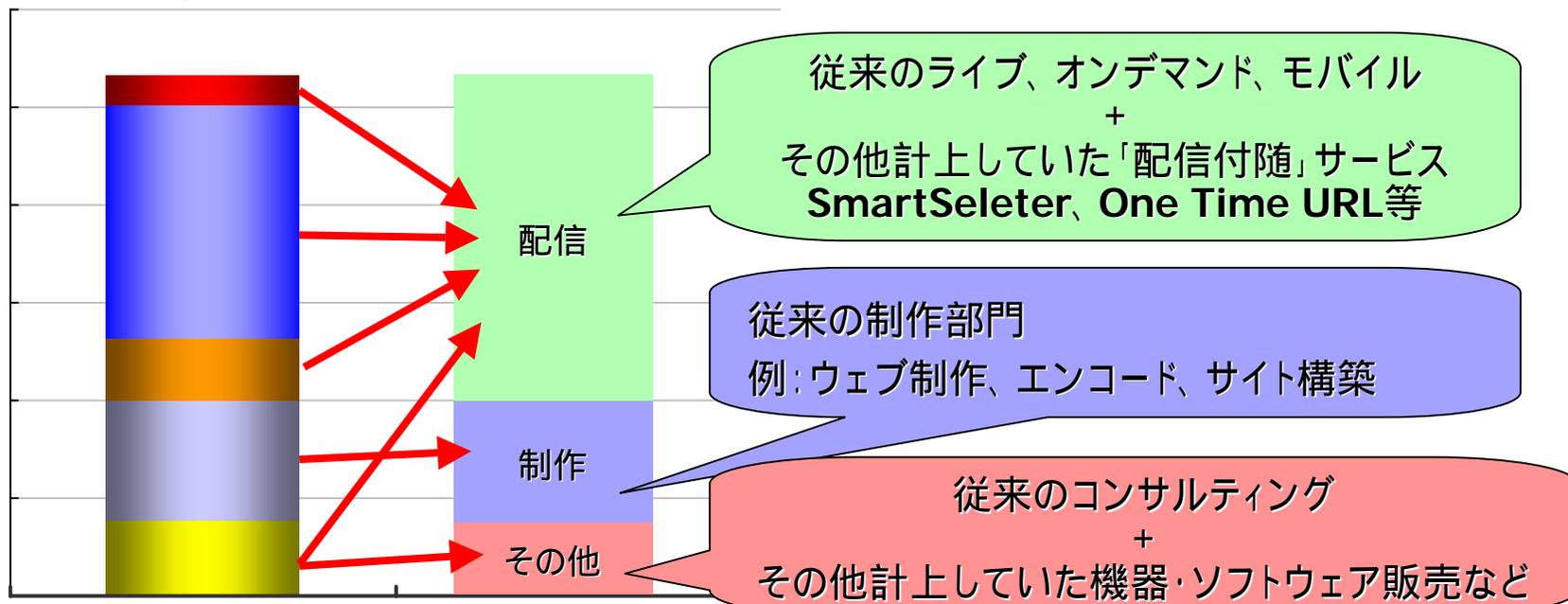
販売管理費主要項目 (連結)

第9期 構成比率順 単位:千円

	9-1Q		8-1Q		増減額
人件費	115,432	(59.0%)	112,761	(59.4%)	2,671
株式関係費	12,898	(6.6%)	10,946	(5.8%)	1,952
地代家賃	8,076	(4.1%)	9,586	(5.1%)	1,510
研究開発費	5,423	(2.8%)	8,116	(4.3%)	2,693
販売促進費・ 広告宣伝費	5,262	(2.7%)	5,124	(2.7%)	138
その他	48,480	(24.8%)	43,267	(22.8%)	5,213
合計	195,571	(100.0%)	189,800	(100.0%)	5,771

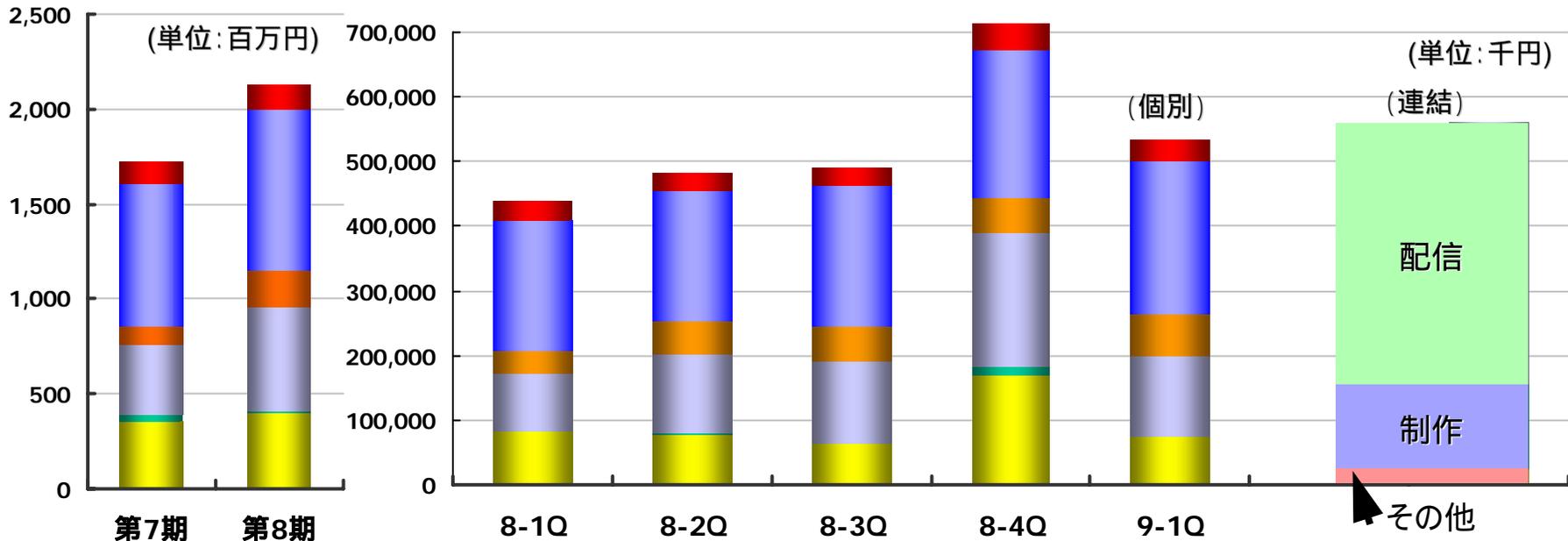
▶ 固定費の伸びは僅か。株式関係費は増加傾向。6

セグメントの変更と利益状況について



(単位:千円)	旧セグメント (個別)		新セグメント (連結)	営業費用	営業利益
ライブ	31,282	配信	405,765	296,161	109,604
オンデマンド	237,731				
モバイル	64,973				
制作	122,815	制作	131,067	128,308	2,759
コンサルティング	0	その他	23,907	16,783	7,124
その他	76,527				
				77,434	(管理部門費用ほか)
合計	533,330		546,000	518,687	27,312

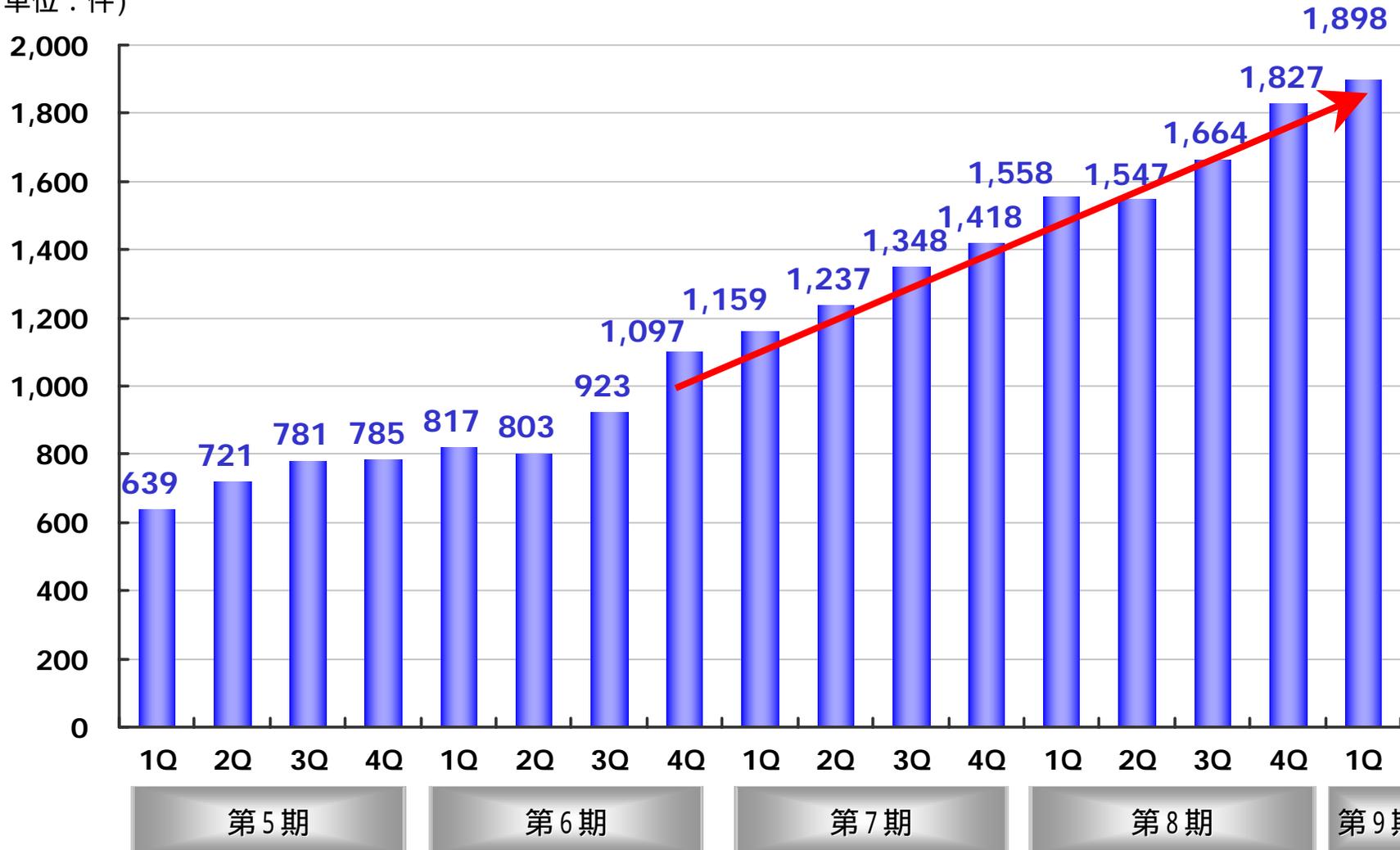
セグメント売上推移



117	121	ライブ	29,725	25,161	27,385	39,624	31,282		
752	849	オン デマンド	199,991	202,750	218,035	228,976	237,731	405,765	配信
97	193	モバイル	35,887	51,599	52,654	53,805	64,973		
366	541	制作	87,545	120,549	126,337	206,862	122,815	131,067	制作
33	17	コンサル ティング	178	2,025	225	15,005	0	23,907	その他
359	397	その他	84,292	79,099	65,567	168,314	76,527		
1,727	2,121	合計	437,621	481,186	490,206	712,590	533,330	546,000	合計

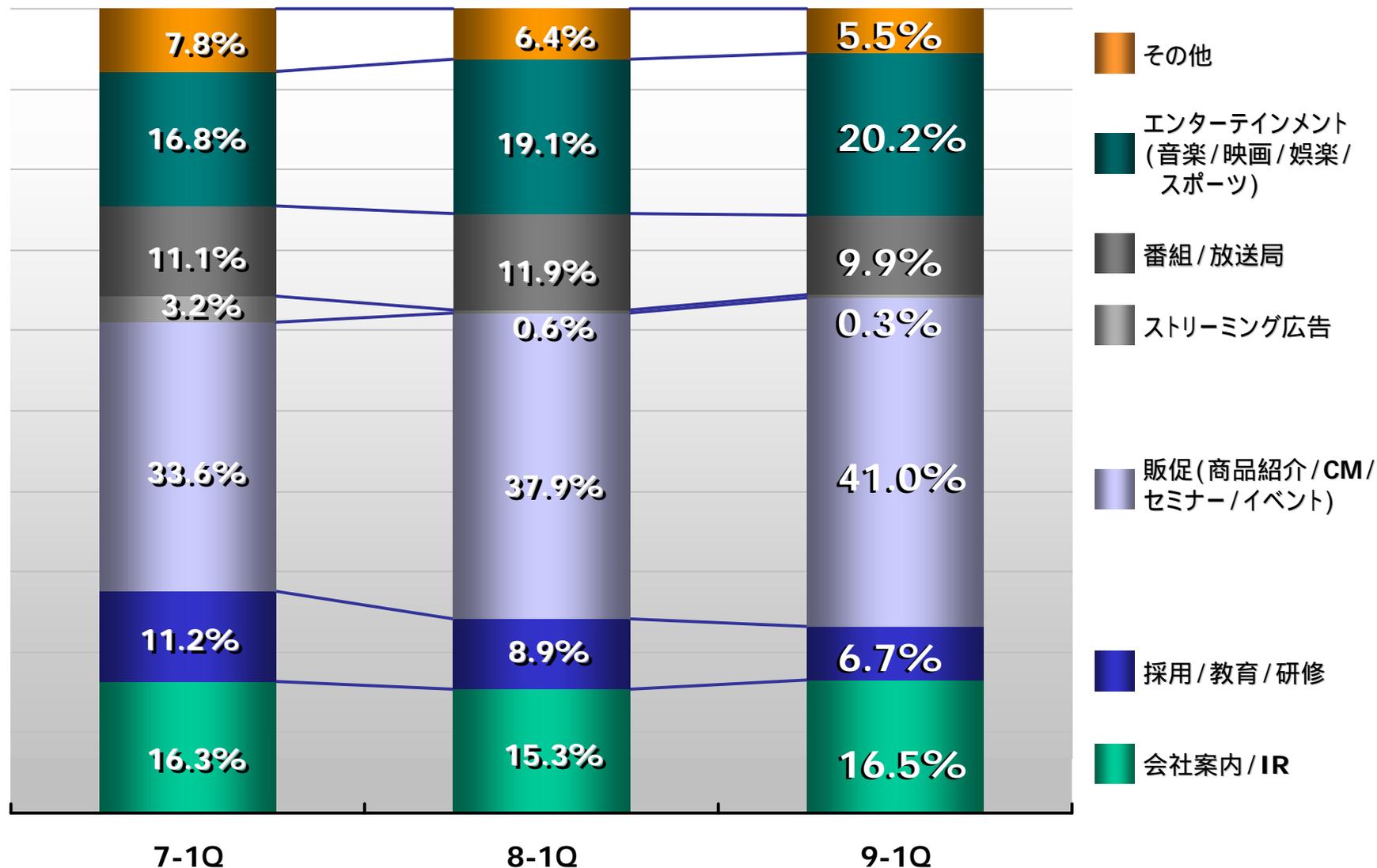
(個別) 旧セグメント ≡ (連結) 新セグメント 8

(単位：件)



▶ 案件数の伸びも順調であり、月600件を突破。

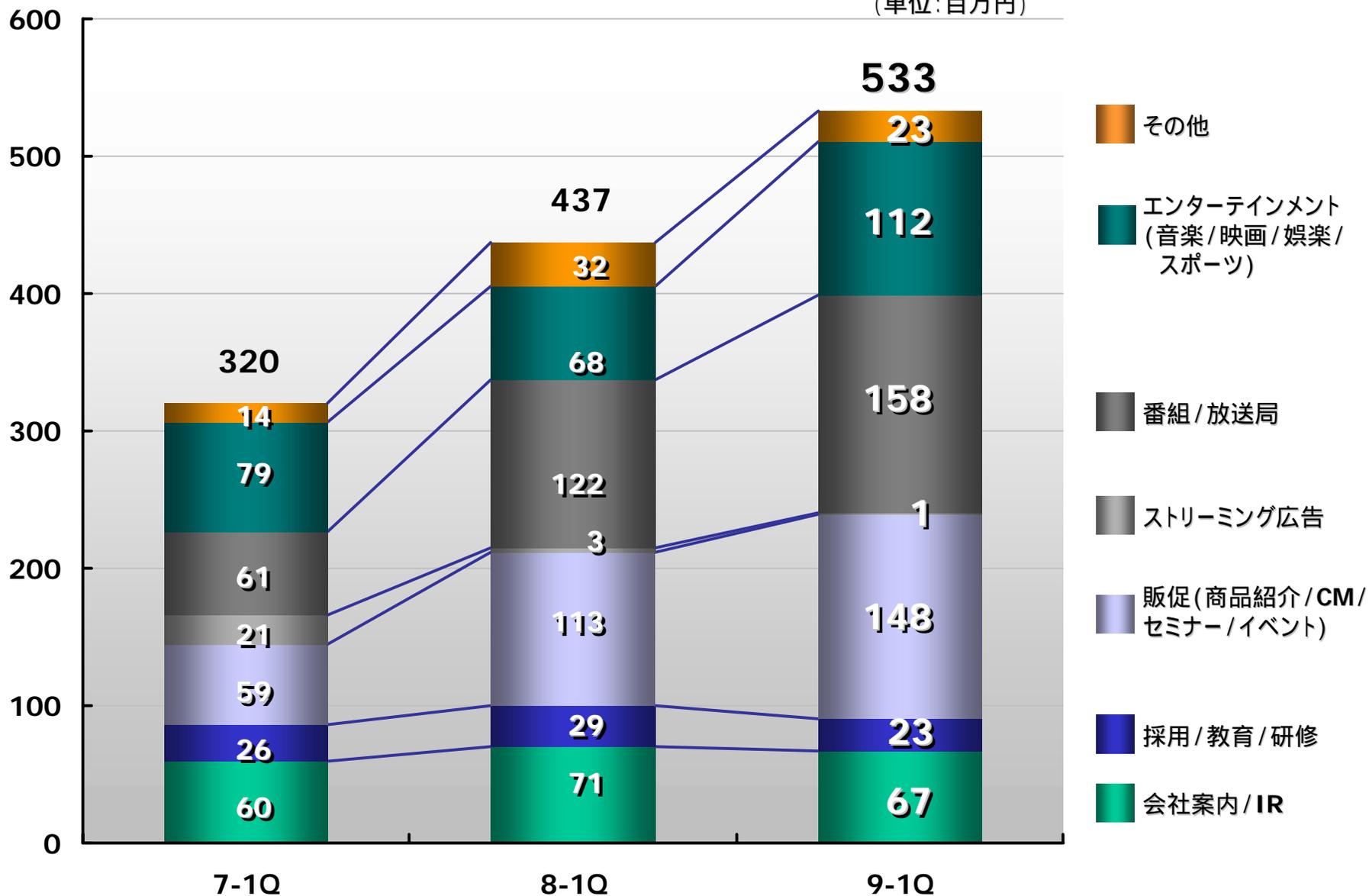
用途別件数比率 (個別)



引き続き販促等ビジネス用途の比率が高く、伸び率も高い。
エンターテインメント系も増加傾向。

用途別売上比率 (個別)

(単位:百万円)



▶ 販促等案件が大型化の傾向。インターネット放送局も規模が拡大。 11

(単位:百万円)

投資戦略	投資項目	1Q実績 (通期予定)
既存サービス強化	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷分散、セキュリティ関連、ネットワーク拡充 等機器強化 	
サービス開発系投資	<ul style="list-style-type: none"> ・更に簡便なリッチコンテンツ利用ツールの開発を展開 ・オンラインセミナーサービス インターネット上でのセミナーを統合管理するサービス『ウェビナー』を提供開始 ・その他新規アプリケーション 課金、Flash関連 携帯関連 ハードウェア、ソフトウェア両面で強化 (14) 	37 (250)
社内システム	<ul style="list-style-type: none"> ・社内情報システム強化 	
企業・事業への投資、協業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き戦略投融資、協業を推進 エクスペリエンス リッチコンテンツ展開 (51%、20) スカパーモバイル モバイル/新規ビジネス (10%、48) バンドワゴン Web制作能力強化 (49%、15) ほか、課金サービス、ポッドキャストなど新規事業をM&Aや新会社の設立を含めて検討中 	利益を大きく 圧迫しない 範囲で 積極展開 12

▶ サッカー大規模ライブ / オンデマンドイベントをインターネット / 携帯電話両面でサポート

▶ MLJ社、TBS他各社と協力

『MLJ Special Match 2005 横浜F・マリノスvs FCバルセロナ』

『2005横浜F・マリノスワールドチャレンジLAギャラクシー対横浜F・マリノスPresented by MLJ』

インターネット / 携帯電話中継に技術・配信協力を実施

『東アジアサッカー選手権2005 決勝大会 / 東アジア女子サッカー大会』

携帯電話向け配信に技術・配信協力

ビジネス展開他

▶ インターネットメディア上にFlash™ で安全・簡単にテレビCMを配信する「FlashCM」モジュール開発

cciと共同発表 ウェブ動画CM配信の標準化を狙う

▶ 「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーンをインターネット、携帯電話動画配信で支援

携帯電話関連

▶ Q-ReadMotionの提供を開始

QRコード®と動画を利用した携帯電話向けマーケティングサービスパッケージ

▶ NTTドコモが提供する「チャンネル向けASPサービスの提供を開始 「プッシュ型」サービスの展開

～ MacromediaのFlashCastサーバを利用した配信に日本で初めて対応～

▶ “MITSUBISHI ELECTRIC everywhere”

日常の中にある三菱電機の製品や技術を、写真と音声によるドラマタッチの演出で紹介するサイト。指紋認証システム、ジェットタオル、ETCシステムなど多彩な内容。

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/everywhere/>



▶ “TOYOTA HYBRID CITY”

トヨタの先進のハイブリッドシステムを“ブログの女王”として知名度の高い真鍋かをりさんのナビゲートの元、わかりやすく紹介するPIP形式のブランディングサイト。

現時点で実用最高度の品質の映像配信。 <http://toyota.jp/hv/entrance.html>



ビジネス市場

販売促進を目的とした、リッチコンテンツ企画の提案強化
PIPサービス、ePresenter Flashの利用用途開拓
関西市場への新拠点展開
企業PR / 広報 総合サイトの企画提案

順調に活動中
開発実施中
順調に活動中
案件増加傾向

メディア関連市場

スポーツ等の大型配信 サポート力強化
コンテンツビジネス展開企業に向けた営業アプローチ
ダウンロード、WebCDNサービスの展開
動画広告市場への新フォーマット提供
課金プラットフォームの提供

案件増。実績積上進む
進行中
進行中
cciとの協業展開
順調に準備進行

モバイル市場

3Gマーケットの拡大を受け、積極的事業展開
携帯も活用した新ビジネス展開企業との連携による事業展開
3キャリア対応の強みを活かした、CP深攻
一般企業の利用シーン開拓

新会社、iチャンネル対応等
仕掛け多数
イベント
活動展開中

(単位:百万円)

	連結	単体
売上高	2,540	2,300
経常利益	104	100
当期純利益	98	98

当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。